

官公庁会員（全 28 名）アンケート結果（現状、課題、要望）

<現状>

Q1：本学会の認知度

「よく認知されている」、「ある程度認知されている」の回答が 64%であるが、「認知されていない」の回答も 36%残る。

Q2：災害発生時の学会等からの意見聴取

「頻繁にある」、「まれにある」が 30%、「ない（身近では聞かない）」が 70%となる。

Q3 学会への問い合わせ（Q2 で意見聴取あり）

「学会本部支部への連絡」が 44%、「案件ごとの対応」が 56%。

Q4 学会との連携協定

「協定あり」の回答は 1 件（4%）のみであり、動きがないケースが 96%。

Q5 災害調査団の活動認知度

「参加したことがある、報告書を見た、聞いたことがある」が 77%、「聞いたことがない（知らない）」は 23%。

Q6 学会に対して求める事項

「高度な科学的・技術的所見」が 69%、「一般市民への広報・啓蒙に対する助言」が 22%。

Q7 学会の良い点

- 専門的な情報の取得
- 災害調査の対応
- 学会員との交流
- 組織の PR
等

Q8 学会の改善すべき点

- 専門的な情報の発信
- 現実的な工法の提案
- 社会に対する理解促進
- 関係団体との連携
等

以上のアンケート結果より、次の課題および要望が挙げられる。

<課題>

- 学会の認知度が低く、高める必要がある。
- 災害発生時等の意見聴取の実施が少なく、信頼される学会となる必要がある。
- 官公庁との連携協定が少ない、学会との連携を高める必要がある。

<要望>

- 高度な科学的・技術的な情報を発信する。
- 学会員の技術を向上させる。
- 関係団体との連携を進める。
- 社会・市民に対する啓蒙を進める。